広報 なかつえ

宮園神社　的ほがし祭

〈人口と世帯〉

3月末現在
（　）内は前月比

人口	1,975人（－5）
男	967人（－3）
女	1,008人（－2）
世帯数	562戸（－3）

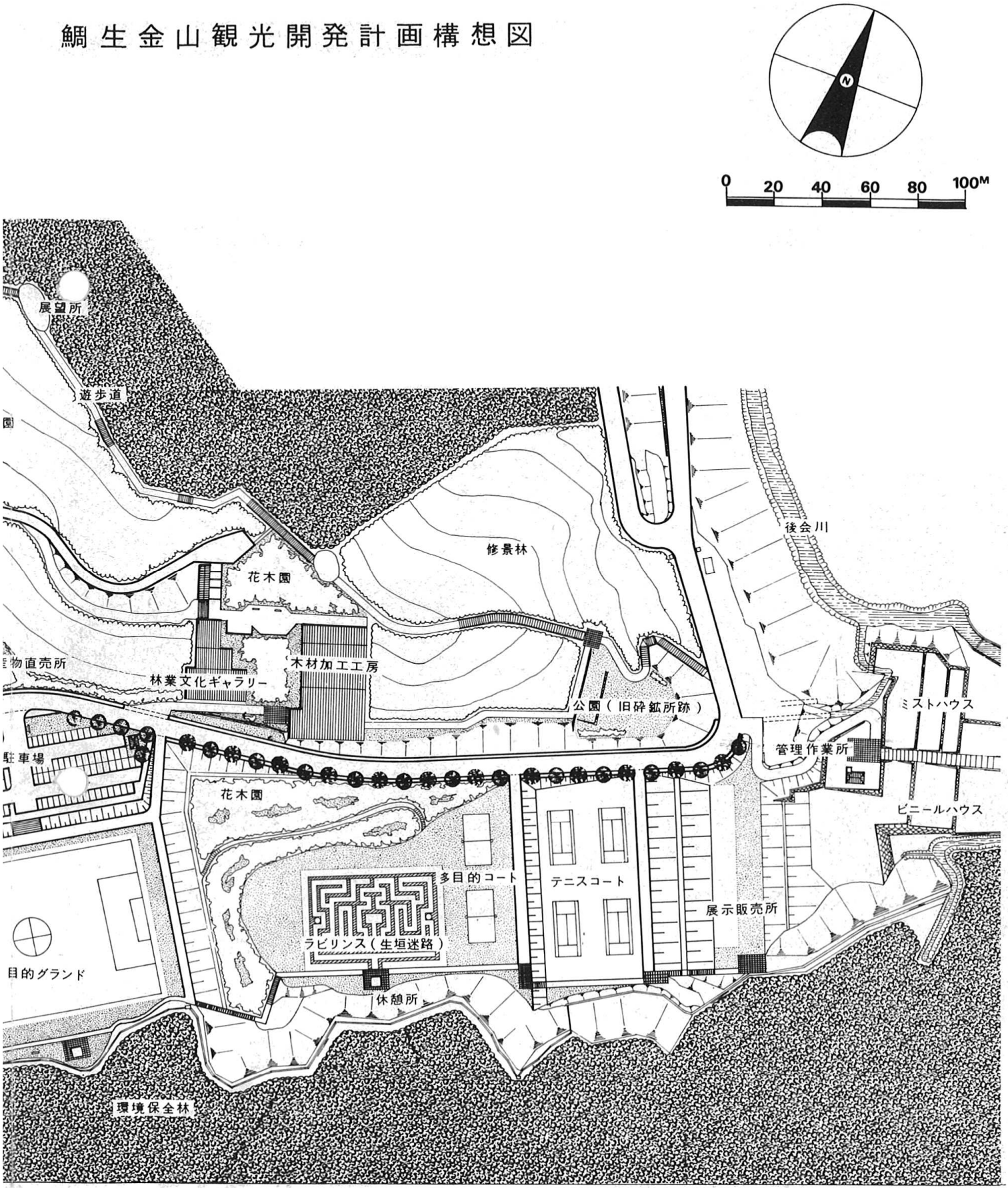
〈行　事〉

〈4月〉
29日　天皇誕生日
〈5月〉
1日　憲法週間（～7日）
3日　憲法記念日
5日　子どもの日
　　山開き
5日　児童福祉週間
　　（～11日）
10日　愛鳥週間

82/
4月号
No.217

発行所・編集発行人　中津江村・斉藤隆一

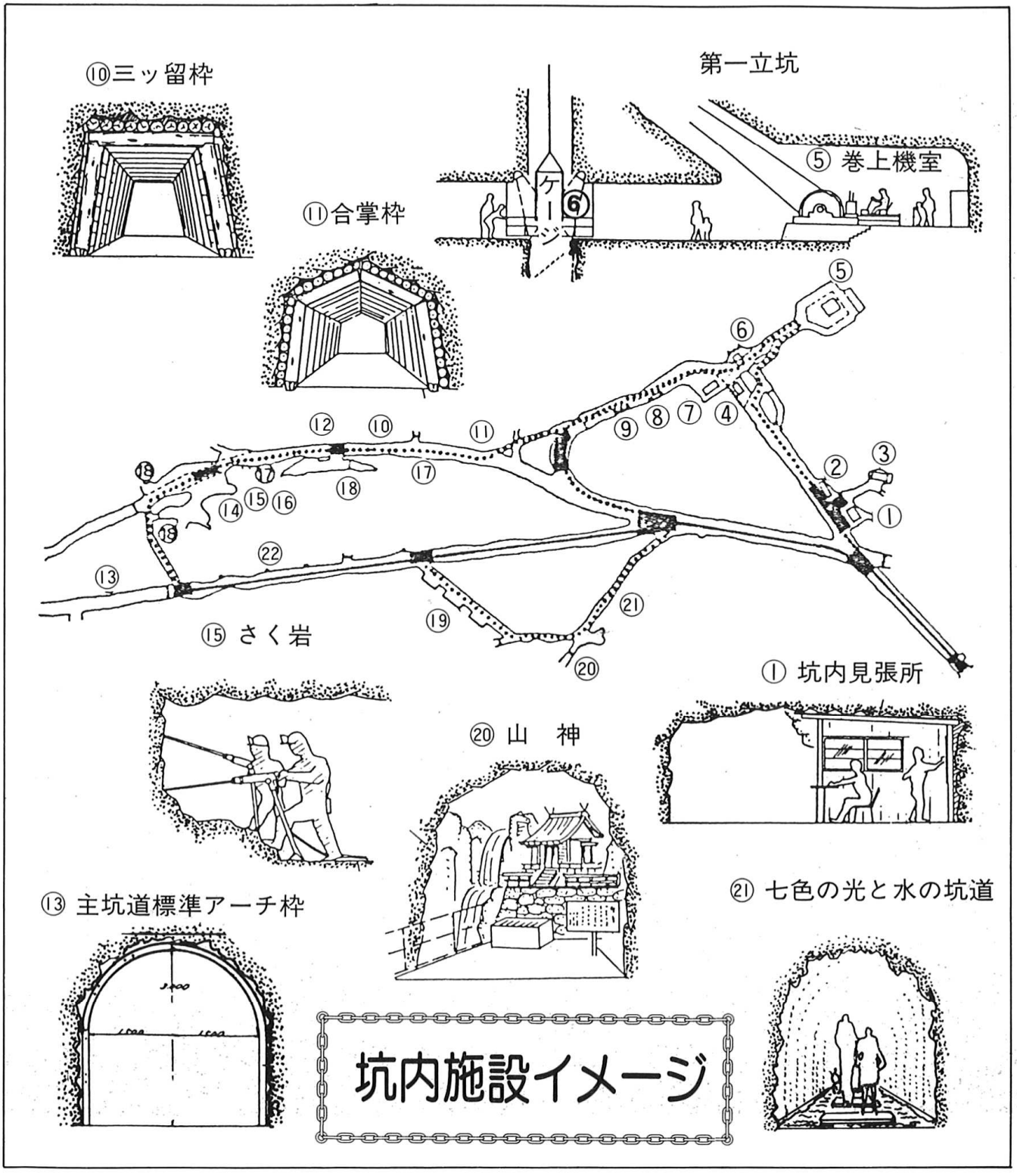
鯛生金山観光開発計画構想図



予備駐車場
合宿所整備
宿泊施設
取付道路
駐車場
広場
もぎとり園
昆虫
山の神神社
花木園
管理道路
管理所
修景林
給水タンク
環境保全林
花見の丘
モデル茶園
デッキテント
キャンプ設備
住宅周辺整備
バンガロー
農林
フィールドアスレチック
修景林
クラブハウス跡公園
小動物小屋
坑道見学施設
ピクニック園地
慰霊碑公園
山の神水路
鉱車軌道
日常駐車場
昆虫園
便所
レストハウス
ゲートボール場
園地（庭園）
金山資料館
総合管理センター
水車
バーベキューガーデン

再び

地底博物館としてよみがえる



金山のロマン

かって東洋一の産金量を誇った「鯛生金山」を、再び「地底博物館」としてよみがえらせ、中津江村はもとより、津江地方から矢部、菊池方面をも含めた地域の、一大シンボルとしようといま急ピッチで整備を進めています。

来年四月には、主坑道を中心に立坑、堀進現場、火薬庫などを結んで、延長七百五十メートルに当時の状況を再現し、地下五百メートルの闇の恐しさ、天井のどこまでも高く堀り進まれた岩肌など、その規模の大きさで、かならず見学の人々を魅了させることと思います。

大分県は「農工併進」をかかげ、テクノポリス開発に取組んでいますが、この「鯛生金山開発」も坑道、資料館を主力とした見学コースとあわせ、スポーツ広場、花木園、小学校跡地を利用しての宿泊施設、キャンプ施設などを充実してゆき、十分に魅力のある「地底博物館」として売出し、あわせて特産のお茶、シイタケ、ワサビ、花木、木工加工品の売上げを伸して「観光と物産の里」として、本村の一大飛躍を目ざす「農工併進対策」の一つであります。

この計画は九州大学、九州芸術工科大学の諸先生を委員として調査、指導に当っていただき、株式会社「都市・田園設計」が設計したものであります。

地底五〇〇メートルをのぞく

鉱山博物館としては佐渡金山、生野銀山など全国ですでに七ヵ所ほどあり、いずれも古い歴史をほこっていますが、反面歴史が古いだけに手堀りによる坑道がほとんどで、それだけ規模が小さく鯛生のような豪快さはありません。

鯛生金山は鉱山博物館としては九州初となりますが、この主なものはもちろん坑道、採堀現場です。

見学コースは七百五十メートルで、坑道入口の御影石に、かって金採堀に情熱をもやした人々の意気を示して、「一棒一條痕」の五文字が力強くきざまれています。

坑口から約六十メートルのところに、広い坑内見張所、工具展示場、横へ少し入りこんだところに火薬取扱所などがあります。

さらに五十メートル進んで右におれると、第一立坑の巻上機室に入ります。高い天井と広い部屋の中に、巻上機がすわり、天井の穴の中にはワイヤロープが消えています。この部屋につづいて第一立坑があり、坑口が地下五百メートルの深さを秘め、サーチライトの光も途中までしか届かず、吸いこまれるような恐怖感につつまれます。

つづいてコンプレッサー、ローダー積込、バッテリーロコ鉱車などが展示され、人形が当時の作業状況を復元しています。

さらに進むと旧主坑道に出て、ここには松九大による支保工が、合掌枠、三ッ留枠、筏組、打柱など復元されています。このあたりはまた、横穴や鉱脈採堀あとがいたるところにあり、採堀がいかに苦難で、危険をともなっていたかを想像させます。

迷路を思わせる坑道

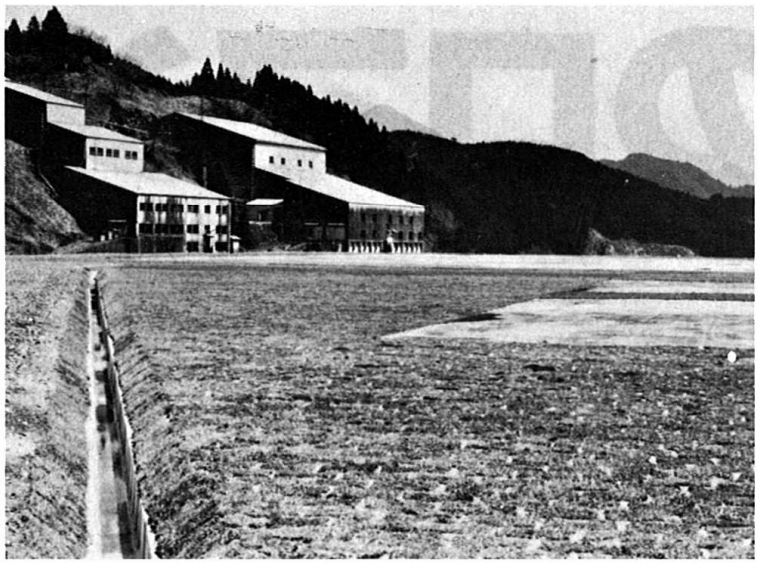
採堀現場には、さく岩機の操作、ダイナマイトのセット、スクレバースラッシングの操作などが作業員（人形）の配置とともに当時をしのばせています。ここはコースが右に左に曲っていて、迷路を思わせ、上りあり、十五メートルほどの階段をおりたりで、坑内でももっともドラマチックなところとなっています。

ここから再び主坑道に出て帰りのコースとなりますが、たいていの人が方向感覚がわからなくなり、奥へ奥へと進んでいるような錯覚にとらわれます。両側にはパネルがならび、作業や金山の歴史、そのほか金に関する説明が続きます。

これを七十メートルほど歩くと右に横穴があって、むかし手堀で堀っていた当時の模様がここかしこに復

元されています。その先には、穴の奥からきれいな水が豊富に湧き出し、そこに山の神神社が祭られています。この美しい水を利用した「七色の光と水」のゾーンをすぎ、再び主坑道に出て、さきほど入った坑道入口へ帰ってくることとなります。

この間約五十分、充分に金山の構造、作業状況や地質の面白さを楽しむことができます。



56年度、新農業構造改善事業で造成されたグランド。16,052㎡とあらゆる競技にも多用できる広さをもつ。

（この施設の建設費の一部は、簡易保険積立金の環元融資によってつくられたものです。）

金塊や世界の金山を紹介

地上の施設は「金山資料館」・「レストハウス」・「総合管理センター」が建ち並び、資料館と坑道を結ぶ歩道には金鉱石が敷きつめられ、両側には四季の花が植えられ、日本庭園が見学者の目を楽しませます。

レストハウスには食堂のほか、売店をおいて金製品をはじめ、津江の特産、お茶、ワサビ漬、シイタケなどをはじめ、コンニャク、漬物、そのほか各地の土産物を用意することとしています。

金山資料館には、鯛生金山の歴史や規模を図示したパネル、写真のほか、金に関する資料を展示して、世界の金山の紹介、道具、機械類、金貨や金を使った装飾品類、また日常生活で身近に使っていながら意外と知られていない触媒や接点などを置きます。

鯛生金山坑道模型、鉱石採堀から精錬して金塊の出来るまでが、模型で展示されます。

鉱石も金鉱石だけでなく銀、銅、鉄鉱石あるいは結晶の美しい鉱石を含め、幅広く集められます。資料館の建築材は丸太を使い、かっての金山倶楽部を彷彿させるものとします。

レストハウス前には三百台を収容する大駐車場、タテ百メートル、ヨコ七十メートルの多目的グランド、ゲートボール場が作られ、グランドには大学、高校をはじめ、小中学校のサッカー、ラグビーまたは野球部の夏季合宿が誘致され、若者の声が響きわたることになります。

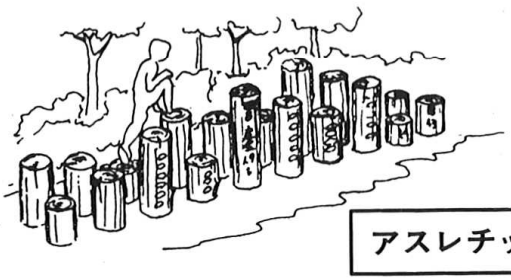
その先にはラビリンス（生垣迷路）を主体にした遊園地や、テニスコート四面が作られます。さらにその隣には花木の展示販売所が作られ、シャクナゲ、ツツジ、ツゲそのほか地元で生産された苗木、花が売られます。

合宿・アスレチックなどの施設も

旧小学校跡には合宿施設を作り、大学、高校はもちろん、中学校の合宿練習を誘致するとともに、一般の避暑客やレジャー客にも利用してもらいます。

学校跡から下の斜面には花木園、キャンプ施設、フィールドアスレチック施設や昆虫園を計画しています。このように種々の計画をもっていますが、これを一度に完成させることは困難です。来年四月オープンまでには、坑内の整備はもちろんですが、管理センター、レストハウス、庭園、駐車場を完成させます。グランド、ゲートボール場はすで

丸太の段違い



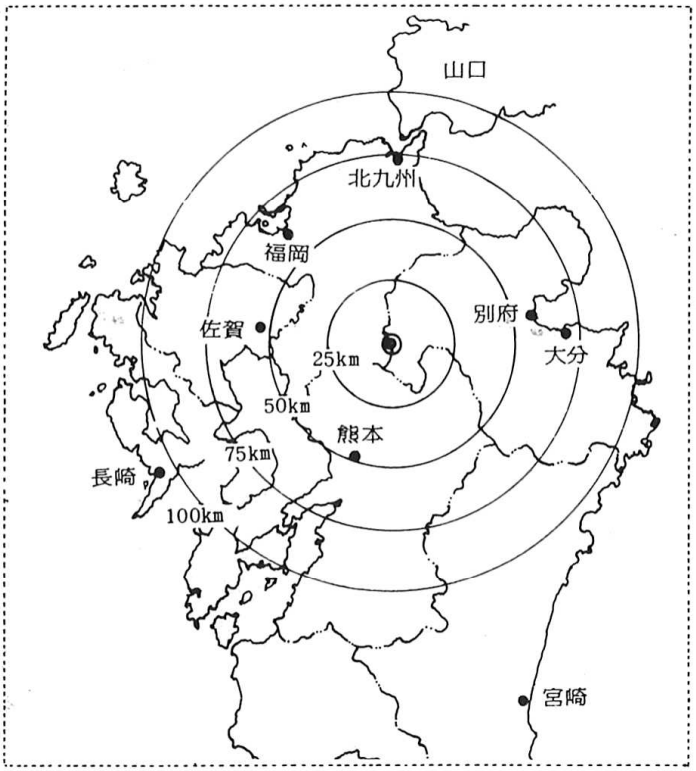
ジャンボ輪投げ

アスレチック

に完成しています。
金山資料館は五十八年に作り、その他の施設も六十年には完成させる予定であります。

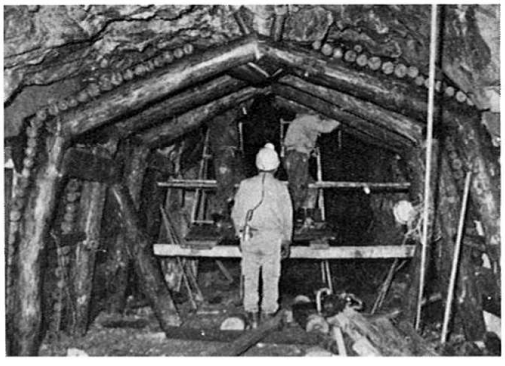
北部九州のどまんなか

鯛生は北部九州のほぼ中央に位置していて、大分、福岡、熊本三県の接するところにあります。
これまで道路事情が悪かったため、山奥、辺境の地というイメージしかありません。しかし国道四四二号も整備が進み、鯛生、菊池間もまもなく舗装が完成します。そうすると、熊本、福岡からも実に近くなるのです。
さらに五十八年には、日田市、前津江、中津江、上津江を貫いて、六十四キロのスーパー林道が完成しますと、阿蘇外輪山から千メートル級の九州の尾根を結んだ、一大山丘道路が出来上ります。
九州横断道路ぞいに広がるなだらかな草原が一変し、険しくそそり立つ山々、深い渓谷、どこまでも広がる樹海、と人々を引きつけずにはおきません。



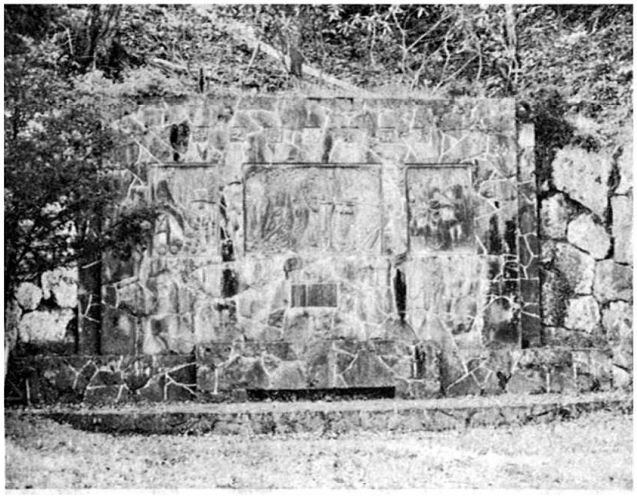
久留米・熊本も五〇キロ以下

地図を広げ、鯛生を中心に円を描くと、半径五十キロ以内に、竹田市、久留米市、熊本市がはいります。百キロに広げると、大分県はもとより、福岡、佐賀、熊本の全県下と、長崎県、宮崎県の一部もはいります。
位置的には非常に良いところにあります。この良い位置を生かすのは、一にも二にも国道、県道の整備であります。
また鯛生の「地底博物館」や、スーパー林道のすばらしい眺めを知ってもらうためのPRも大事なことです。
津江の特産物と鯛生、スーパー林道の景観を大いに宣伝したいと思います。



坑内の作業現場（合掌枠）

坑内見張所



鯛生金山の慰霊碑

この慰霊碑の作者は長崎県出身の北村西望氏
主な作品として長崎市にある平和神像がある。

金山の歴史

年産二・三トン！東洋一 最盛期は三千人が働く

鯛生金山は明治二十七年に発見されて今日まで、八十八年の歴史を経ています。時間的には他の金山史にくらべ短かい期間でしたが、一時は東洋一の産金量を誇り、鉱山町として二千人の従業員が働き、工場の響きや、歓楽街のさんざめきは不夜城となって栄えました。

発見は明治二十七年十二月とされています。きっかけは、一人の干魚行商人が山畑の小道にさしかかり、白い小石を見てなにげなくその一塊を拾い、それを操業中の星野金山の南郷技師に見せたところ、金銀鉱石であることがわかった、というものです。

同じころ、広い山林地主の田島儀市氏の子息勝太郎氏が、熊本の第五高等学校に学んでいましたが、地質鉱物の授業中、篠本二郎教授から金銀鉱石の標本を見せられ、郷里の畑にあるのをそれと知った、と言われています。

明治三十一年から採掘を開始

こうして明治三十一年五月、南郷、田島氏が組合を設立し「鯛生野鉱山」として正式に採掘を開始したのであります。

大正七年五月、英人ハンス・ハンター氏が権利を譲りうけ、鯛生金山株式会社を設立し本格的操業に入りました。大正十三年には一ヵ月の産金高が百二十キログラムに達し、本邦屈指の大金山となったのであります。

大正十五年四月には、大阪の木村鐐之助氏に経営がうつり、大正十五年から昭和三年までは、久原鉱業に経営を委ねましたが、昭和四年から再び木村氏の経営となりました。

昭和七年には産金量は年一・八五tにも達しました。昭和十一年九月には社名を「鯛生産業株式会社」と改め、資本金もそれまでの三百万円を一千万円に増資し、さらに十二年には二千万円としました。産金量も十二年は二・二九t、十三年は二・三tと、北海道鴻ノ舞を抜いて日本一の座につきました。

昭和十二年最盛期を迎える

従業員も全国から集まり、坑内千五百人、坑外千人、請負組五百人の計三千人に達し、社宅も本村のみならず、矢部坑口附近にも建ち並びました。

昭和十四年には木村家からラサ工業に株の大半が譲られ、十五年にはラサ工業と合併しましたが、社名はそのままとなっています。

昭和十六年大東亜戦争ぼっ発と共に、旧鯛生系の幹部職員は南方マレー、フィリッピンセブ島、或は朝鮮の銅山へと離散してゆき、生産量も十四年から下り坂を迎え、十六年には一・二三tと減少し、さしも栄えた鯛生も衰微への道をたどるのであります。

昭和十八年四月十日、金山整備令が公布され、鯛生は保坑鉱山となり、総ての生産はストップし、坑内外の主な施設は撤去され、従業員千数百人も、九州の炭坑、東北の銅山、または朝鮮の鉱山へと散ってゆきました。残留できたのは職員二十二名、鉱人二百十名のみでした。産金量も十八年には〇・二三三tに落ちています。

昭和十九年二月には、鉱業権を帝国鉱業株式会社に譲渡し、四月には排水ポンプ、レールなどの撤去をし、二十年七月には全面的に坑内排水を放棄しました。

戦後は苦しい道を歩き閉山へ

戦後二十二年、鉱山再開準備にかかり、従業員の新規採用をはじめ、二十三年には第一立坑、主坑道の補修をおこない、三号脈、四号脈から採掘をはじめました。しかし、欠損金の増大のため、二十四年五月には操業を中止し、人員整理に入っています。

昭和二十五年四月、帝国鉱業株式会社の解体により同社幹部によって、新鉱業開発株式会社が設立され、鉱業権もこの会社に移譲されました。

昭和三十一年十月一日、住友金属鉱山株式会社と新鉱業開発株式会社の共同出資で、資本金七千五百万円の「鯛生鉱業株式会社」が設立されました。

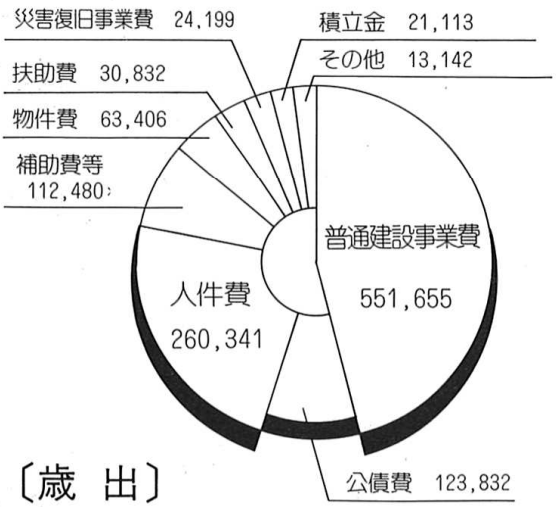
三十二年六月、下部排水開始、三十三年から本格的操業に移り、三十四、五年

開設事業の推進による分担金、林業集落基盤総合整備事業として林道シメ原線、平野鶴田線開設工事、集団間伐促進事業による除間伐の推進、特用林産振興事業による竹林改良、椎茸原木造成事業等により林業の振興を図ります。

教育面をみると

教育面では、へき地小規模校における教育の充実振興につとめるとともに、社会教育における人間教育面の充実を図りたいと思います。津江中学校の教育の充実を図るため、文部省指定研究校となり、教育の振興につとめるとともに、寄宿舎教育の充実はさらに引き続き実施します。このほか、日田郡高校寄宿舎の設置と奨学資金貸付基金制度により、高校進学における父兄負担の軽減につとめます。また、二年次をむかえる大分大学へき地教育研究センターの早期完成を推進します。

表Ⅲ



〔歳 出〕

福祉・保健衛生は

福祉面では老人人口の増加による諸対策として、在宅老人メニュー事業により老人のいきがい対策事業、ねたきり老人の訪問事業等により福祉の充実を図ります。また十月からは老人保健制度が実施される予定となっています。

保健衛生については、健康づくり運動の推進を図るとともに、保健婦の設置により保健活動の充実を図ります。また川辺簡易水道が完成しましたので、今年度より供給が始まります。事業では患者輸送車の購入によりへき地医療の充実と広域圏事業として日田葬祭公園事業費の負担があります。

商工観光をみると

商工観光面では、西猪野々堆積場の鉱害防止事業、鯛生金山観光開発事業は二年次をむかえ、五十八年オープンにむけての事業として坑内の整備と坑外の管理センター等の整備をします。

道路の整備については、五十七年度より八女、小国線が国道四四二号線として昇格するので改良が完了するよう推進します。事業では村道宮園線の改良が完了し、村道作草中川内線の舗装を継続事業として実施します。

このほか、農事無線放送の免許期限が十一月末日となっていますので、防災行政無線放送に切り替えるための改修事業、防火水槽の新設、ポンプ積載車の購入等があります。

災害では五十六年災の道路災害復旧、五十五年災林道災害復旧、五十六年災農業用施設災害復旧を実施します。また、村営バスの運行事業が三年次をむかえ、この事業の見直しと、国土調査が三年次をむかえることになります。

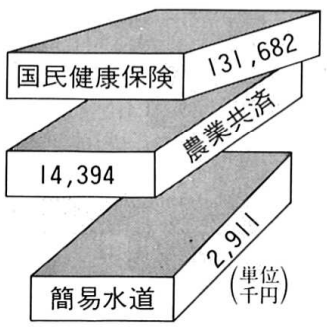
補正が考えられる事業

つぎに当初予算に全額計上できなかった予算で、五十七年度に実施しなければならない事業としては、スーパー林道開設分担金の追加、広域消防費の追加、ガードレール等の工事費の追加や鯛生小学校体育館の窓の改修工事、丸蔵小学校石垣改修工事、合鶴線法面保全工事等がありますが、実施計画の検討やその他の事情を検討のうえ、今後予算の補正をしたいと思います。

以上が各分野における主な事業ですが、この結果、五十七年度一般会計予算総額は、十二億百万円となり、五十六年度当初予算に比較して三・八％の伸びとなりました。これは五十六年度の八・四％の伸び率からみると四・六％も低い伸びとなっており、五十七年度の国の予算の伸び六・二％、県の予算の伸び四・四％からみても、さらに低いきびしい伸びとなっています。

特別会計

なお、この一般会計とは別に表のような特別会計があります。国民健康保険１億３千１６８万２千円、簡易水道２９１万１千円、農業共済１千４３９万４千円と、それぞれ計上されています。



後継者を育てる

村の将来をみんなの手で

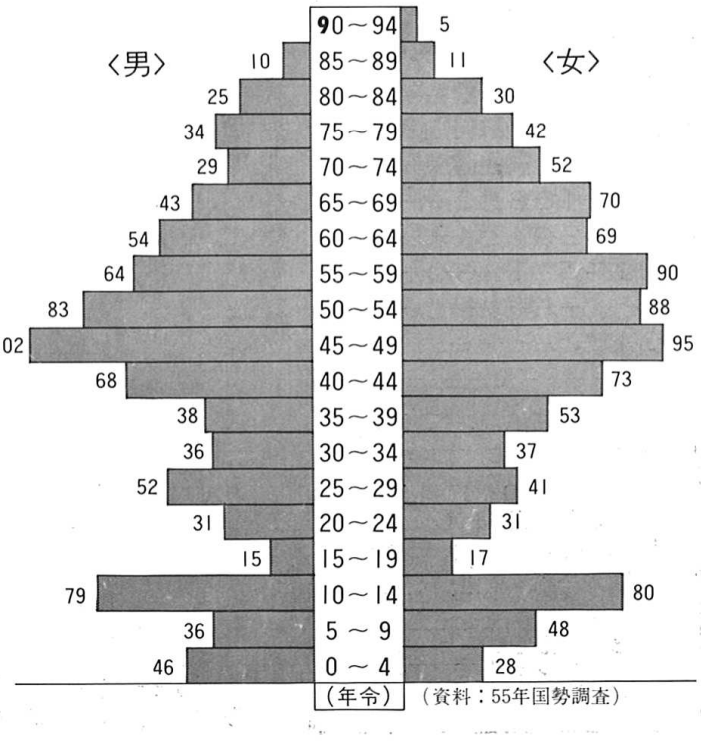
昭和五十五年の国勢調査をみると、本村の世帯数五百七十戸、人口千八百五人となっています。これを五年前の調査と比較してみると、世帯数四十四戸、人口は三百三十五人の減少で、もっとも高い人口減少率を示している過疎の村であり、このことはすでにご承知のことと思います。

しかし、この人口減少の形がどうなっているか考えてみると、思わず肌寒さを覚える現状です。五才階層で年令別分布をみると表のとおりになり、理想とは大きくかけ離れた形になっています。一般的には〇才から四才までの幼児がもっとも多く、高令になるに従ってだんだん少なくなっていくピラミッド型です。最近では、産児制限等により少産型となっているので、三十才前半がもっとも多い型になっていますが、本村の場合は、四十五才から四十九才の階層がもっとも多い型になっています。

このことは、戦中、戦後生れのほとんどが村を離れていったために、全国平均よりも十才あまり高い年令層が中心となっていて、若者の非常に少ない形態となっているし、出生率も二十年来減少を続けています。それによって高令者の占める割合がいちじるしく高くなって、県内では真玉町（二三・四%）、国見町（二三・〇%）、安心院町（二二・八%）についで、高令者（六十五才以上）の多い村（一九・四%）で、全国平均（九%）、県平均（一二・二%）に比べると大変高い数字になっています。

こうした事態になってきたのは、日本の農山村全体同じような状況ですが、その地域に働く場の少ない山村や、農業経営の小規模、また土地条件の劣悪な地域ほど極端になっています。本村の場合は、立地条件がきびしい上に、金山の閉山、ダム完成が重なったため、人口の流出が特にはげしく、こういった状態の村となったと思われます。

一方、若者の流出に拍車をかけたのは、家業につかせた場合、その規模を拡大し若者に十分の収入を確保させる努力が大変であり、容易に生活が保障された工業労働者として、両親も進んで送り出したためです。これから先、どのようにして村の後継者を確保するかが問題です。これは村の行政も農協も真剣に考えていかなければならないことですが、村民全体の課題でもあります。もし、あなたが病気になって看護を必要とするようになった場合の対策はできていますか。先日の日本農業新聞にも、高令化社会を問うと題して問題提起がなされていましたが、皆で後継者を育てる工夫をしようではありませんか。



（資料：55年国勢調査）

あきらめよりも、まず努力をしてみる必要があります。

農家にあっては、従来の経営を見直し、高冷地の特色を生かし、林業との複合で安定した所得をあげる研究を続け、若者が帰ってきても生活のできる基盤をつくっていこうではありませんか。

若者は中津江村をきらって出ていったのではありません。みんなふるさとを恋しく思っているし、中津江村に「のころう会」が結成され、二十六名の会員が村の将来を考えています。また、若い嫁さんたちも「若妻会」を結成して、村の将来と農業の実践について勉強を始めました。微力かもしれないけど、確かに村づくりに向って動きが感じとれます。高令者福祉の充実ももちろん大切です。でも高令者につくす人がいなくては何もできません。

どうしたら村に後継者が育つか、みんなで考えようではありませんか。

新農用地利用

増進法について

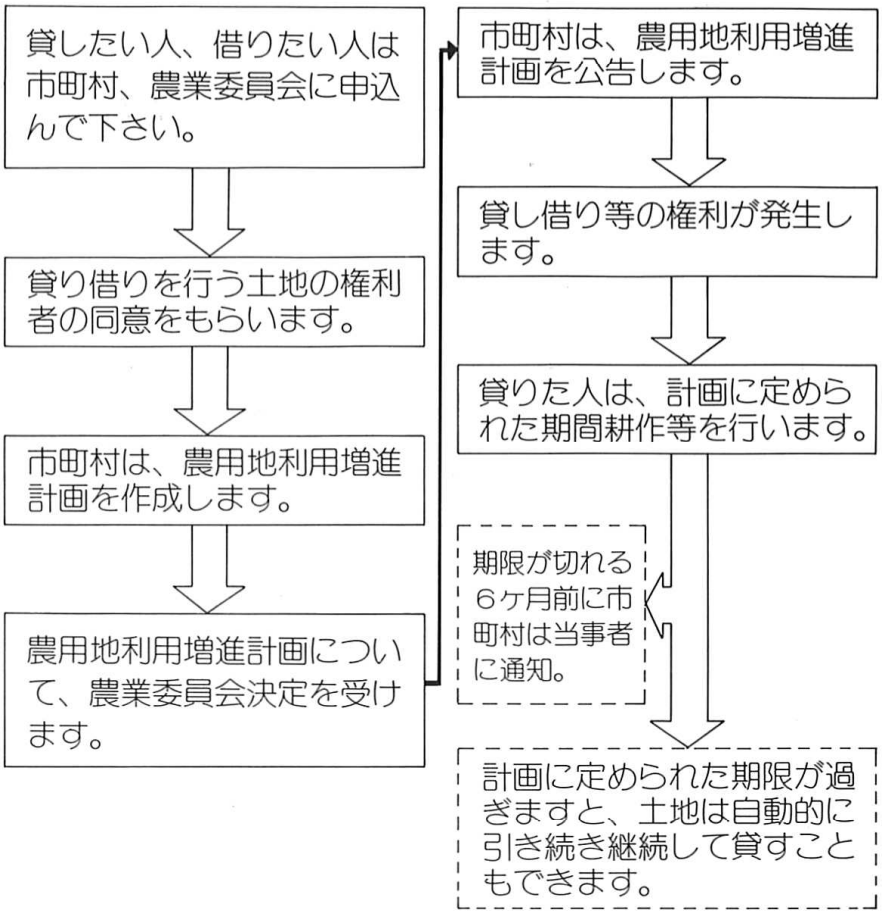
農用地利用増進法は、限られた農地を有効に活用するため、また効率の良い農業経営をしていただくために定められたものです。

そのために、この手続きにより農地を貸した場合は、利用権の設定ということになり、期間（通常３年、特別な場合10年）が切れた後は、何の権利も残らず自動的に地主の元へ戻ることになります。

。対象となる土地…農用地・農業用施設用地

くわしくは役場産業課へお尋ねください。

これらの手続きを図示してみると、次のようになります。



かけ声だけではできない交通安全

五月は新緑の行楽期。それだけに、一年のうちでもこの時期は交通事故が多く発生する傾向にあります。

このためドライバーの方にぜひ励行していただきたい事項をまとめてみました。

①シートベルトの着用を

「シート・ベルトなんか……」とついおこたりがちですが、シート・ベルトの着用が事故による被害を、防止・軽減するのに大きな効果があることは、多くの実例によって証明されています。同時に、運転姿勢を良くし、運転による肉体的疲労を軽減する効用もあるのです。

ドライバーはもちろん、同乗者もシート・ベルトの着用をお忘れなく。

②飲酒運転は絶対にしない、させない。

行楽期は酒を飲む機会も多くなります。ドライバーは絶対に飲酒運転をしないようにするとともに、同乗者や周りの人も飲酒運転をさせないようにしましょう。

③制限速度を守り、スピードは控え目に。

路線や区間ごとに、道路や交通の事情に応じた速度を守り、安全運転に徹しましょう。

④車間距離は十分に！

ドライバーが危険を感じてブレーキを踏んでも、クルマは急に止まりません。停止距離は、速度が増せば増すほど長くなります。ドライバーは、車の速度、天候、路面やタイヤの状態、疲労の程度などを考え、常に十分な車間距離をとるようにしましょう。

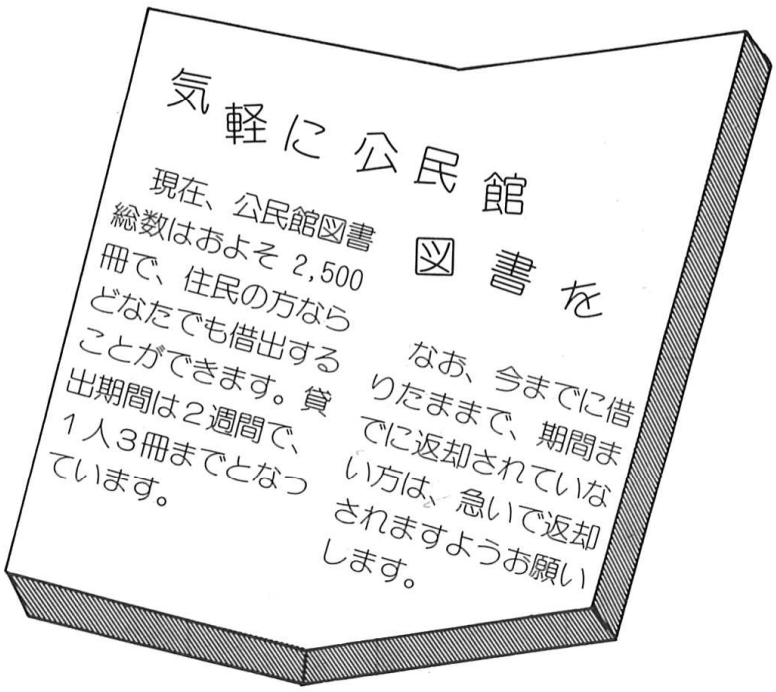
―・―・―・―・―

交通事故防止に関する事業（安全週間等）は、他人のためにやっているのではなく、自らの生命を守るためにおこなっているのです。真に定着化させるために、みなさん方のご協力とご理解をお願いします。

昭和57年度　公民館講座受講生募集一覧

学級・教室名	開設期間	回数	日　時	定員	開催場所	講師名
長栄学級	5月～2月	10回	毎月21日 昼10:00～3:00	25	中央公民館 そ の 他	―――
しあわせ学級	5月～2月	10回	毎月25日 昼10:00～3:00	25	中央公民館 そ の 他	―――
俳句教室	5月～2月	8回	第1土曜日 昼1:30～4:00	20	中央公民館	江田　正義
生花教室	5月～2月	8回	第3土曜日 昼1:30～4:00	20	中央公民館	加隈小夜子
民踊教室	5月～2月	8回	第3木曜日 昼1:30～4:00	20	中央公民館	松本千鶴香
編物教室	5月～2月	14回	第2・4火曜日 夜7:30～10:00	20	中央公民館	矢野しのぶ
詩吟教室	5月～2月	10回	第1水曜日 夜7:30～10:00	30	鯛生生活改善センター 丸藏生活改善センター 中央公民館	河村又一郎
野田生花教室	5月～2月	7回	第3火曜日 夜7:30～10:00	20	野田生活改善センター	中原　ミチ
民踊教室	5月～2月	7回	第3金曜日 夜7:30～10:00	20	中央公民館	昼間の民踊教室生
乳幼児家庭教育学級	10月～12月	3回	第3金曜日 昼1:30～4:00	20	中央公民館	―――
壮年学級	10月～12月	3回	第4木曜日 夜8:00～10:00	25	中央公民館	―――
書道教室	年　間		月1回 昼1:00～3:30	若干名	中央公民館	河村又一郎

◦地区にこだわりなく、どこの場所でも受講することができます。
◦各教室とも若干の受講料を徴収いたします。
◦尚、応募人員が10名以下の場合は教室を取りやめる場合があります。
◦日時や開設期間の変更があることもあります。



受講生募集

―中津江村公民館―

公民館では、昭和57年度の講座の受講生を募集します。今年度も公民館活動が活発になるようにいろいろな事業を計画していますので、多数の方が受講されますようお願いします。

なお、申込み等は次のとおりですが、くわしいことを知りたい方は公民館までご連絡ください。

▲申込先…中津江村公民館（電話でも受付けます。）

募集内容は昨年とほぼ同じですが、今年度の概要は次のとおりです。

◦長栄学級…65歳以上の高齢者の学級です。（男女は問いません。）

◦しあわせ学級…60歳前後の婦人の学級です。この二つの学級ではレクリエーション、旅行あるいは奉仕活動などの内容盛り沢山の学級です。

◦俳句などの趣味教室…自主的な教室活動をめざして学習します。また、若干の受講料を徴収いたします。

◦詩吟教室…今までの各詩吟教室を統一し、開催場所も受講生の話し合いで決めて学習します。

◦民踊教室…夜間に受講希望の方を対象に学習します。

◦乳幼児家庭教育学級…本年度新しく開催予定の学級です。就学前の乳幼児を持つ親を対象に、親のあり方、子どものしつけ、健康管理等について学習します。

◦壮年学級…本年度新しく開催予定の学級です。30歳以上50歳代の壮年男子を対象に、村政や教育などについて意見交換、懇談会形式で学習します。

この二つの学級については、申し込む時に自分の希望する内容がある場合にはお知らせください。

◦書道教室…書道の愛好者で、自主開催

村職員の人事異動

四月一日付けで、役場職員の人事異動が次のようにおこなわれました。（ ）は旧所属課です。

（総務課）
▼総務係長　池辺勝美（住民課）　▼財政係長　永瀬宝（同課）　▼住民課長　平野吉秋（税務課）　▼福祉係長　長谷田繁義（産業課）　住民係長　川村恭一（同課）　▼主任　杉本由三子（会計）

（税務課）
▼税務課長　櫟原照幸（住民課）　▼税務係長　水野英男（総務課）　▼国土調査係長　岩釣賢三（住民課）

（産業課）
▼商工係長　中原邦彦（税務課）　▼農林係長　武原勇一郎（同課）　▼農地係長　石川原庸

（建設課）
▼建設課長　中元富太（企画開発室）　▼振興営繕係長　吉田伸一（同課）

（企画開発室）
▼企画開発室長　矢野邦彦（建設課）　▼主事　北村羊（建設課）

（教育委員会）
▼学校教育係長　森本久宣（同課）

（鯛生金山事務所）
▼所長　児塔民和（企画開発室）　▼主任　杉野喜一郎（企画開発室）　▼主事　高野新一（企画開発室）　▼工夫　合谷浩京（建設課）　松原信男（建設課）

（住民課）

商業統計調査にご協力を

昭和五十七年六月一日現在で商業統計調査が実施されます。

この調査は〝商業の国勢調査〟ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業、小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

調査は、県知事から任命された調査員が直接訪問し、調査票に記入していただいて回収するという方法で行います。

なお、提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力ください。

◆五十七年度職業訓練指導員試験

昭和五十七年度の職業訓練指導員試験が、次のとおりおこなわれます。

※実施職種　(1)実技試験及び学科試験を実施する職種…自動車整備科　(2)学科試験のみを実施する職種…造園科・機械科・建築機械科・農業機械科・洋裁科・和裁科・その他

※実施期日及び場所　実技試験（自動車整備科のみ）…七月二日(金)、大分高等職業訓練校にて　学科試験…七月十六日(金)、大分地域職業訓練センターにて

※受付期間　五月十七日～六月七日

※受験手数料　実技試験一万一千円・学科試験二千円

※合格発表　八月六日

くわしくは、大分県商工労働部職業訓練課（電話〇九七五―三六―一一一一）へおたずねください。

◆木材業者・製材業者の方へ

昭和五十七年度木材業及び製材業を営む者は、新規・更新ともに毎年四月中に、登録を受けなければなりません。

※木材業者…木材または立木の売買、斡旋の業を営む者

※製材業者…機械設備によって製材または単板、合板、床板の製造をおこなう者

※更新手数料…二千円

※申請手続き等…登録申請等については、日田木材協同組合にて一括おこなってください。

その他くわしくは、日田事務所林業課（電話日田三―二二〇五）へおたずねください。

ボクが

村長だったら！

川辺小６年生
鷹野由美子ちゃん

もし私が村長になったら、村が過疎にならないように、大きな職場をいくつも建て、村から出ていった人達に帰ってもらいます。そして、花をいっぱい植えて、花でつつまれている美しい村にして、観光客がたくさんくるようにしたいです。ダムにも魚だけ入れないで、白鳥や鵜（う）など泳がせて、遊覧船やボートを浮かべダムめぐりをします。遊覧船で自分達が釣り上げた魚や、うが取った魚は、遊覧船の中で焼いて食べられるようにします。特産品のお茶、しいたけ、わさび、こんにゃくなども食べてもらって販売します。

月に一度は老人の日をつくって、老人を船に乗せて楽しんでもらいたいです。寝たきりの方には、変化した中津江村を８ミリにとって、ホームヘルパーのおばちゃんにたのみ、一軒一軒見せてまわります。

金山の跡は斉藤村長さんが、観光地をつくっているので、私はその近くに動物園もつくって

先生が異動しました

中津江村で長い間、子どもの教育に努力して頂きました先生方が多数異動しました。転出、転入された先生方は次のとおりです。

（敬称略）

津江中	今村睦江	新採用		
	（転出）			
退　職	後藤孝一	鯛生小		
判田小	矢野チヅ子	〃		
塚脇小	衛藤　豊	丸蔵小		
〃	佐藤恵子	〃		
小山小	園田弘吉	川辺小		
鎌手小	後藤典子	津江中		
東部中	川津一芳	〃		
日出生中	瀬島恵子	〃		

新任校	（転入）	旧任校
鯛生小	樋口九州男	津江中
〃	塩川美紀	新採用
丸蔵小	田辺信彦	〃
〃	冷川美保	〃
川辺小	冷川善幸	〃
津江中	江田陽一	出口小
〃	石川涼子	新採用
〃	小野公一	〃
〃	野田栄子	〃

▼各小学校で入学式

四月十日、各小学校で入学式がおこなわれた。鯛生小三名、丸蔵小六名、川辺小十五名と、児童の減少がやはり目立ちます。

式では、新入学児童もちょっと緊張気味……とは始まった時、除々に慣れてきたのか式の終り近くになると、ときおりそわそわ、やっぱりかわいい一年生です。

保健婦メモ　しいたけを考える

新鮮なキノコ類は、九〇％前後の水分を含み、主成分は炭水化物で五％前後存在します。その他ビタミンＢ（皮膚炎の予防や成長に不可欠）、プロビタミンＤ（クル病予防）が豊富に含まれます。

生理作用は、高コレステロール血漿改善や血圧降下、抗腫瘍作用があり、食物せんいの重要な補給源です。

このようにしいたけ（キノコ）には、いろいろな効果がありますが、薬ではありませんので、即効性を期待することは禁物です。

しかし、前述のようないろいろな作用をもつ食品であり、「ダシ」としてのうま味も兼ねそなえている食品です。ぜひ、毎日の生活に役だてましょう。

イタズラきかり

三宅　貴彦ちゃん（S56.2.18生）
（石場・三宅　清さんの二男）

カメラを向けると逃げてしまう。かわりにお父さんがパチリ。兄弟ゲンカも十分にやる気をみせるイタズラッコ、帰りぎわにバイバイと笑顔、やっと慣れていただいたようでございました。ハイ！

家にいるよりも外で遊び、ニワトリを追いかけまわすのが好きというやんちゃガール。ニワトリも急がしいようです。親も一目置くというイタズラざかり。でも、まだ指をくわえるかわいいクセも。

井上真紀子ちゃん（S54.7.18生）
（八所・井上　民雄さんの長女）

いのしし、しか、キジ、ハトなど、中津江村にいる動物をいっぱい入れて、野生の王国にします。そして、村の中心ぐらいのところに、宇宙遊園地をつくります。宇宙の家に入る時だけは宇宙服を着て宇宙人になります。この考えが実現するといいだろうなあ……。

父と子

かってわが国には厳父慈母という言葉がありました。厳しい父親といつくしみ深い母親という意味です。

しかし最近は甘父干母になったという人がいます。父親は子どもを甘やかすようになり、母親は子どもに干渉しがちであるということを示しています。父親の余暇時間が増え、子どもと接触する機会が多くなったこと、男性と女性の社会的地位が接近したことを背景に、家庭で妻や子どもに対していばっている父親よりも、優しく話し相手になってくれる父親の方がいいと思われるようになったこと、などが主な理由でしょう。子どもにとって怖い父親よりも優しい父親の方が好ましいのは言うまでもありません。でも家庭での教育を考えた場合、父親にはときどき「それは絶対にいけない、認めることはできない」ときっぱりと言い切るだけの権威が必要です。

愛することと甘やかすことを同じと考えて、子どもに安易に妥協しているのでは家庭教育は崩壊してしまいます。

優しい面と毅然（きぜん）とした面が父親には必要なのです。

〈グループ紹介〉

〈詩吟同好会〉

グループ、仲間、心よい
ひびきのある言葉です

ここにも、こんなグループがあり、ひとつの輪となって今、そして将来………

昭和五十一年に本村から参加、実際には四十七年に上津江村の同好者を主に発足、正式には淡窓伝光霊流津江分会、詩吟同好者のグループである。現在の会員十一名、うち七人が村内の会員（会長は小野田の杉野万吉さん）。

三月二十八日におこなわれた三芳・日田郡ブロック大会では四人が入選、着実に実力をのばし、いまでは会員すべてが有段者という。今年で十周年、大山町のグループとともに記念行事を計画中。

月に三回、小野田の杉野ヒサヨさん宅で和気あいあいのうちに練習、大きな声で部屋中をひびきわたらせている。

講師の安心院光義さんは「すばらしく練習熱心なグループ、これでうまくならなければ嘘でしょう。」とおほめの言葉を最後に。

年金・現況届を

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受給されている方は、毎年５月31日までに「国民年金受給権者現況届」を市町村役場を通じて社会保険事務所に提出することになっています。

現況届は、引き続いて年金を受けるための大切な手続きです。現況届を提出されないと、９月期以降の年金の支給が止まったり、遅れたりすることがありますから、必ず期日までに提出してください。

現況届について詳しくお知りになりたい方は、役場住民課または社会保険事務所へおたずねください。

無料法律相談所

５月１日から７日までの憲法週間、その行事として無料法律相談所が日田弁護士会の主催で開設されますので、ぜひご利用ください。

▲日時　５月10日　10時～15時

▲場所　大分地方家庭裁判所日田支部会議室（日田市淡窓１丁目）

▲相談内容　①借地借家・金銭貸借・交通事故による損害賠償・その他民事一般の問題　②離婚問題・相続問題・その他の親族間の紛争

▲相談担当者　日田市内在住の弁護士

４月から ナイターを開放

４月から津江中学校グランドのナイター施設が開放されます。

使用料は、１時間1,000円で、使用時間は10時までとなっています。

使用希望者は、教育委員会で手続きをして、次の各事項を厳守し、使用ください。

※校内に自動車、単車、自転車など乗り入れないこと。（駐車は学校下の駐車場にすること。）

※タバコの吸殻、空缶、ゴミ等は必ず、各自で持ち帰ること。

※使用後は必ずグランドを整地する。

ご寄付お礼

◦香典返し

（村社会福祉協議会へ）

長谷部戦助様　20,000円

三笘　光夫様　10,000円

（市ノ瀬集会所へ）

桑野　秋義様　10,000円

（宮園集落センターへ）

三笘　光夫様　30,000円

雑記

花見、花見といっても、昔みたいに団体で、ゴザや酒や手作り料理を重箱に詰めて持ち寄り、募る話をしながら飲んだり食べたり歌ったりして粋なもんだったんでしょうが、最近では、あまり花見をする人さえ見かけず、どちらかと言えば、スナックや家などで、流行のカラオケのマイクを片手に握り締めて、上手も下手も歌手になった気分、酒に酔い、自分の歌に酔いながら賑わっているようです。時の流れにそって、花見のやり方も変化しつつあるのでしょうか？

しかし、お互いの対人関係だけは、昔と変らぬままでありたいものですし、大きな輪となっていきたいものです。